

岡山県感染症週報 2021年第27週 (7月5日～7月11日)

【お知らせ】2021年第28週(7/12～7/18)の感染症週報は、<暫定版>を2021年7月26日(月)に、<確定版>を第29週とともに2021年7月30日(金)にホームページへ掲載いたします。

◆2021年 第27週(7/5～7/11)の感染症発生動向(届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第25週 2類感染症 結核 1名(80代 男)
- 5類感染症 梅毒 1名(50代 男)
- 第26週 4類感染症 レジオネラ症 2名(70代 男 2名)
- 5類感染症 梅毒 1名(40代 男)
- 第27週 2類感染症 結核 4名(60代 女 1名、80代 男 1名、90代 女 2名)
- 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 5名(O157: 幼児 女 1名、20代 男 1名・女 1名、30代 女 2名)
- 4類感染症 レジオネラ症 2名(70代 男 2名)
- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 20名



©岡山県「ももっちと仲間たち」

ソーシャルディスタンス
・マスク・手洗い!

新型コロナウイルス感染症 年齢階級別・性別発生状況一覧表

	0-9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	年代非公表
男			4	6	1	1	1				
女			2			1			2		
性別非公表											2

【第28週 速報】

- 腸管出血性大腸菌感染症 1名(O103: 40代 男)の発生がありました(7月14日)。
- 新型コロナウイルス感染症 41名の発生がありました。詳細については「今週の注目感染症①」をご覧ください。

1. **新型コロナウイルス感染症**は、2021年第27週に20名の報告があり(第26週は8名)、県内での2020年からの累計報告数は7,616名となっています。詳しくは「今週の注目感染症①」をご覧ください。
2. **RSウイルス感染症**は、県全体で178名(定点あたり2.02→3.30人)の報告があり、前週から増加しました。過去10年間の同時期と比較して最も多くなっています。地域別では、岡山市(6.43人)、備中地域(5.57人)、倉敷市(3.73人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。この感染症は、大人は軽い風邪程度の症状で軽快しますが、乳幼児が感染すると重症化するおそれがあります。有効なワクチンはなく、症状に応じた対症療法が行われます。詳しくは「今週の注目感染症②」をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓		RSウイルス感染症	↗	★★★★★
咽頭結膜熱	↑	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	★
感染性胃腸炎	↗	★	水痘	↗	★
手足口病	↑	★	伝染性紅斑	↓	
突発性発疹	↘	★	ヘルパンギーナ	↗	★
流行性耳下腺炎	↗	★	急性出血性結膜炎	↗	
流行性角結膜炎	↗		細菌性髄膜炎	↗	
無菌性髄膜炎	↗		マイコプラズマ肺炎	↑	★
クラミジア肺炎	↗		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↗	

【記号の説明】 前週からの推移：
 ↑：大幅な増加
 ↗：増加
 →：ほぼ増減なし
 ↘：減少
 ↓：大幅な減少
 大幅：前週比100%以上の増減
 増加・減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。(発生数が多いことを示すものではありません。)
 空白：発生なし ★：わずか ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い

今週の注目感染症①

★新型コロナウイルス感染症

●新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス感染症は、現在世界中で感染が拡大している呼吸器症状などを呈する感染症です。日本では、2020年1月15日に1例目の感染者が確認されました。感染経路は、飛沫感染が主体と考えられますが、換気の悪い環境であれば、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させると考えられています（WHOは、5分間の会話で1回の咳と同程度の飛沫（約3,000個）が飛ぶと報告）。現在、予防接種が進められています。（[新型コロナウイルスワクチン接種に関する情報提供（岡山県）](#)）

●症状

1～14日（通常5日程度）の潜伏期間の後に、主に発熱、咳、倦怠感等の風邪のような症状が出現しますが、下痢、嗅覚・味覚障害などを呈する場合があります。初期症状に続き、肺炎症状の増悪を示す場合があります。特に高齢者や基礎疾患（慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、肥満など）のある方がり患すると、重症化する割合が高い傾向にあるとされており、注意が必要です。他方、感染しても息苦しさなどを認めない比較的軽症の例や無症状の方も多くみられます。

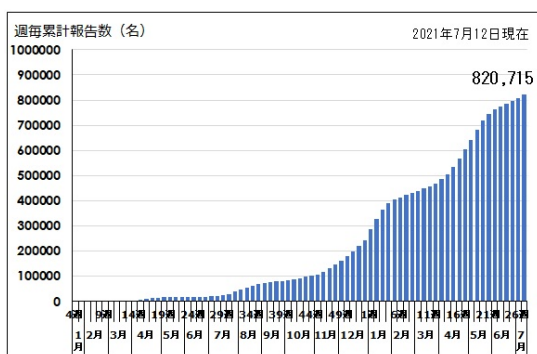
また、いわゆる後遺症についての研究が進められており、その中間報告において「疲労感・倦怠感、息苦しさ、筋力低下、睡眠障害、思考力・集中力の低下、脱毛」が感染の診断から6か月後でも多く認められ、遷延する症状と考えられています。（[COVID-19 後遺障害に関する実態調査等（厚生労働省）](#)）

●発生状況

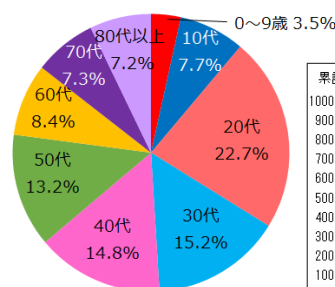
・全国

2021年7月15日0時現在まで、国内感染者は累計で827,772名、国内死亡者は14,990名、退院または療養解除となった者は791,751名となっています（厚生労働省ホームページより）。

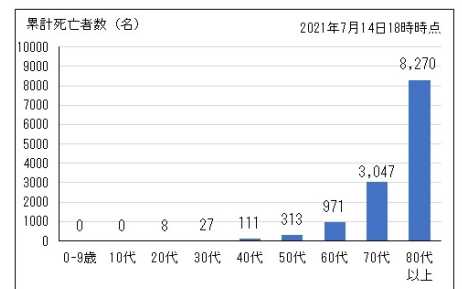
全国の新規感染者数は増加が継続しており、特に首都圏での感染拡大が顕著で、周辺や全国への影響が懸念されます。東京都では、重症者数は増加傾向または直近は横ばいという状況ですが、20代～40代の新規感染者数が多く、入院者数は50代以下を中心に増加傾向が継続しています。また、7月に入り関西圏でも新規感染者数の増加がみられています。デルタ株（インドで最初に検出された変異株）は、クラスターが複数報告され、市中での感染もみられています。7月中旬時点での陽性例に占めるデルタ株の割合は、関東地方で40%以上、関西地方で20%以上と推定されています。デルタ株はアルファ株（英国で最初に検出された変異株）よりもさらに感染性が強いことが示唆されており、今後置き換わりが進むことが予測されます。（参考：[都道府県別の懸念される変異株の国内事例数（ゲノム解析）について（厚生労働省）](#)）



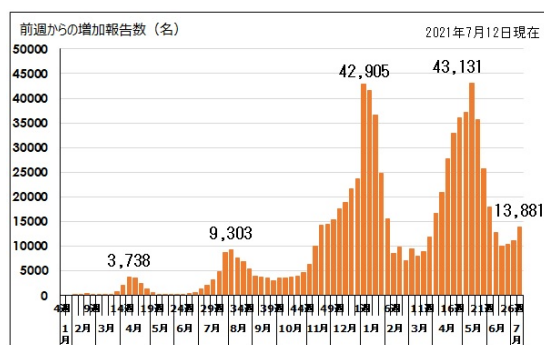
全国 週毎累計 厚生労働省ホームページより (2021年 第27週まで(～2021/7/11))



全国 年齢階級別累計割合



全国 年齢階級別死亡者数



全国 週毎増加報告数 厚生労働省ホームページより (2021年 第27週まで(～2021/7/11))

全国 年齢階級別にみた死亡者数の陽性者数に対する割合 (%)

	0～9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	年齢階級計
計	0	0	0.0	0.0	0.1	0.3	1.4	5.1	14.2	1.6
男	0	0	0.0	0.0	0.1	0.4	2.0	7.1	19.4	1.7
女	0	0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	3.1	11.1	1.4

2021年7月14日18時時点

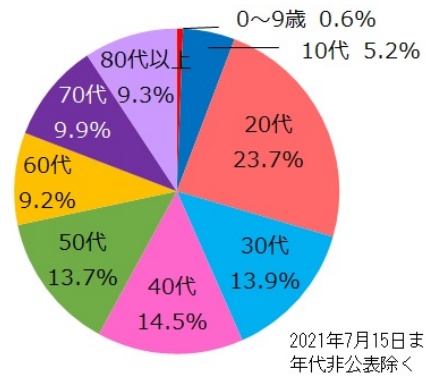
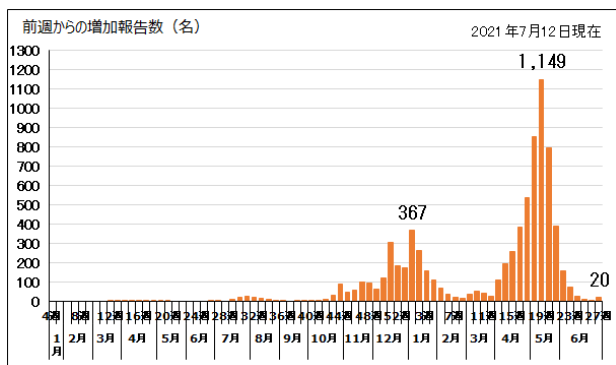
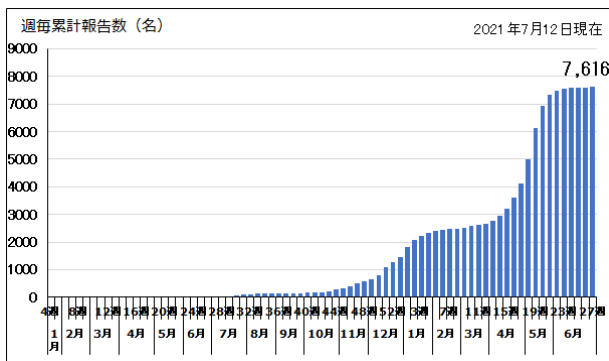
厚生労働省ホームページより(2021年7月14日18時時点)

・岡山県(最新情報)

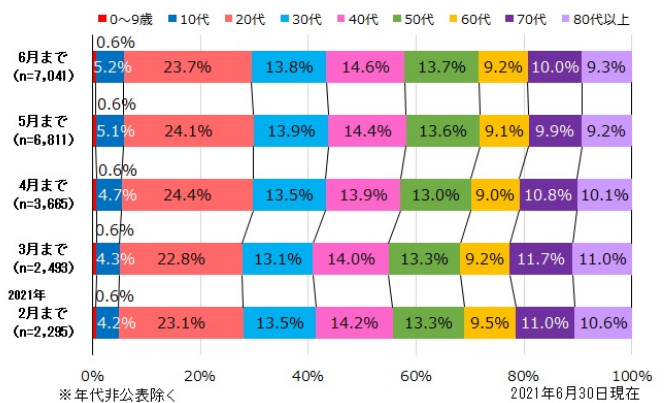
2021年7月15日までで、岡山県の感染者は累計で7,657名(男性3,809名、女性3,312名、性別非公表536名)、死亡者は127名となっています。新たなクラスターの発生がみられており、新規感染者数の動向に注視が必要です。岡山県の状況、感染予防の方法などの詳細は、[新型コロナウイルス感染症について\(岡山県\)](#)をご覧ください。

第28週(速報値) 新型コロナウイルス感染症 41名 年齢階級別・性別発生状況一覧表

	0-9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	年代非公表
男		2	7	5	3	6	2			1	
女		1	3	1	1	2	2				
性別非公表											5



岡山県 年齢階級別累計割合(2021年7月15日まで)



【発熱や風邪のときは「かかりつけ医」等にご相談を！】

新型コロナウイルス感染症は、発熱や咳などで始まることが多く、初期症状が一般的な風邪と似ています。

こうした症状がある場合は、無理をして学校や職場等に行かないようにして、「発熱外来」で相談・診療・検査をしてもらいましょう。

なお、医療機関を受診する際は、必ず事前に電話予約をし、受診時はマスクを着用してください。

詳細は、岡山県ホームページ → [新型コロナウイルス感染症について](#)

★ 予防接種を受けて、重い感染症にかかるリスクから子どもを守りましょう！ ★

現在、新型コロナウイルス感染症の流行による影響から、子どもの定期予防接種率の低下が懸念されています。

子どもの予防接種は決して「不要不急」ではありません。

まだ接種期間内の方は、早めに予防接種を済ませましょう。

予防接種に関する疑問点などは、お住まいの市町村にお問い合わせください。



[遅らせないで！子どもの予防接種と乳幼児健診\(厚生労働省\)](#)
[予防接種スケジュール\(国立感染症研究所\)](#)

今週の注目感染症②

★RSウイルス感染症

●RSウイルス感染症とは

RSウイルスによる急性呼吸器感染症です。1歳までに半数以上、2歳までにほぼ全てが初感染します。感染者の咳やくしゃみ、会話の際に出るしぶきを浴びてウイルスを吸い込む飛沫感染、感染者との直接の濃厚接触や、ウイルスがついている手指や物品を触ったり、なめることによる間接的な接触で感染します。

●症状・治療

感染後2～8日の潜伏期間を経て、発熱、鼻汁、咳などの風邪様症状が現れます。多くは軽症ですが、重症化すると咳がひどくなり、喘鳴や呼吸困難などが出現し、場合により細気管支炎、肺炎へと進展していきます。初感染乳幼児の約3割で症状が重くなるとされ、乳幼児における肺炎の約50%、細気管支炎の約50～90%がこのウイルスによるとされています。特に低体重出生児や心肺に基礎疾患がある場合、免疫不全がある場合などはリスクが高まります。特効薬はなく症状に応じた対症療法を行います。

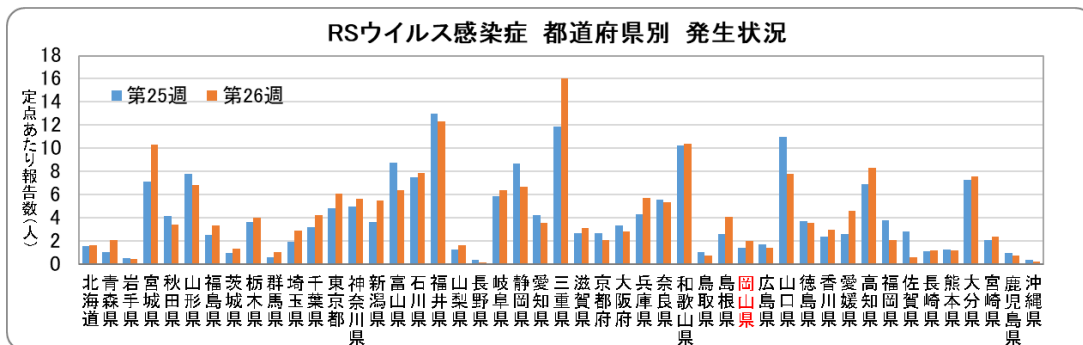
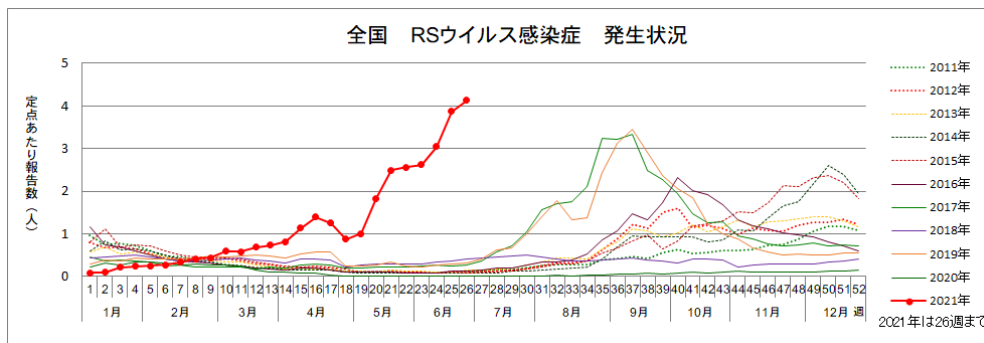
●乳幼児への感染予防

乳幼児期を過ぎると、RSウイルスに感染しても軽症となり、感染していることに気づかずに、乳幼児にうつしてしまうことがあります。そのため、咳などの呼吸器症状がある人は、可能な限り0歳児・1歳児との接触を避けることが感染拡大の防止につながります。風邪をひいたと思ったらマスクをする、鼻をかんだ後はしっかりと手を洗う、子どもたちが使うおもちゃなどは消毒用アルコールで拭くなど、乳幼児への感染予防に努めましょう。

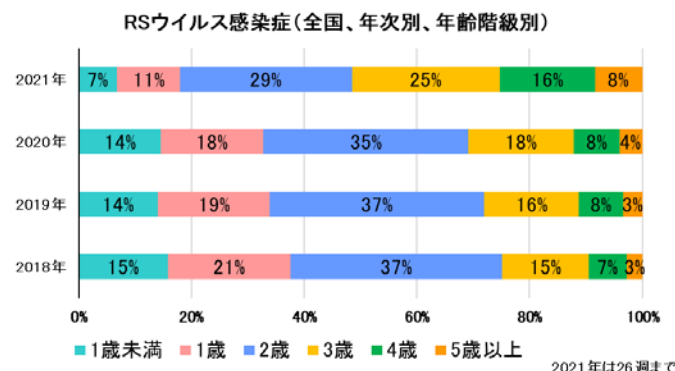
●発生状況

・全国

全国の2021年第26週(6/28～7/4)速報値によると、全国の定点あたり報告数は4.13人となり、前週(3.87人)から増加しました。都道府県別では、三重県(16.00人)、福井県(12.30人)、和歌山県(10.37人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。全都道府県から患者の発生が報告されました。

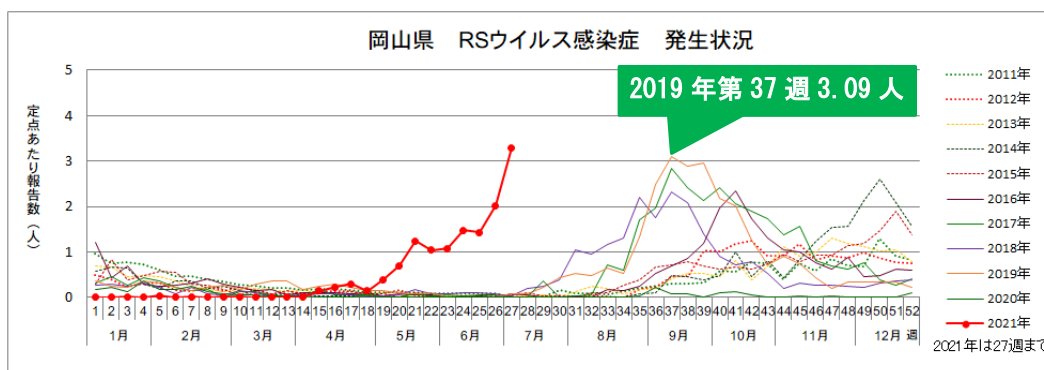


年齢階級別では、例年と比較すると1歳未満児の割合が大きく減少し、3歳児以上の割合が増加しています。



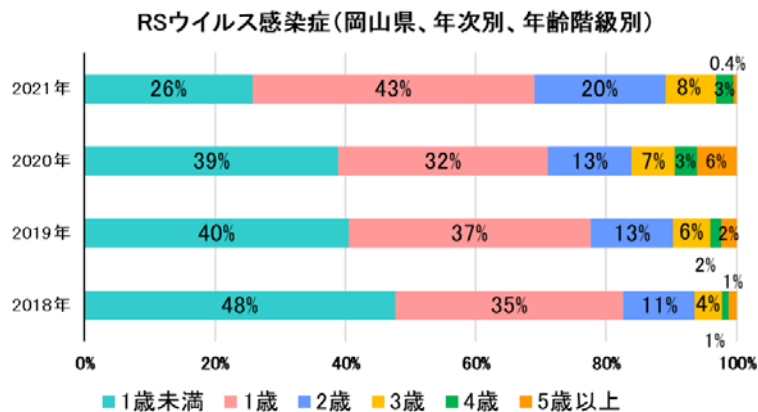
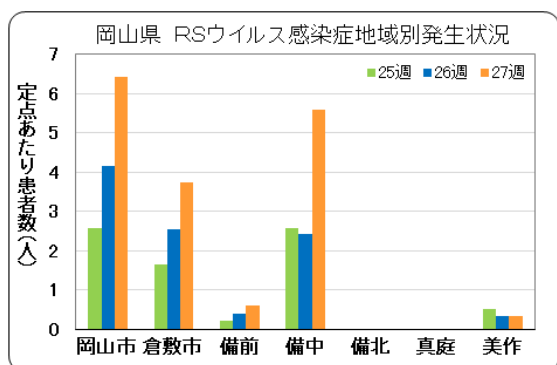
・岡山県

2021年第27週は178名（定点あたり3.30人）の報告があり、前週の109名（定点あたり2.02人）から増加しました。2006年の感染症発生動向調査サーベイランスシステム導入以降で定点あたり報告数の最多を記録した2019年第37週の3.09人を超えました。



地域別では、岡山市・倉敷市・備中地域での増加が顕著です。

年齢階級別では、例年と比較すると、1歳未満児の割合が全国と同様に減少していますが、1歳児の割合が大きく増加しています。全国と比較して、2歳児以下（89%。全国は47%）の報告がより多くなっています。



[IDWR 2021 年第 25 号<注目すべき感染症>直近の新型コロナウイルス感染症およびRSウイルス感染症の状況 \(国立感染症研究所\)](#)

[RSウイルス感染症とは \(国立感染症研究所\)](#)

[RSウイルス感染症 Q&A \(厚生労働省\)](#)

風しんの抗体検査(無料)を受けましょう!

<妊娠を希望する女性や同居する家族の方>

岡山県・岡山市・倉敷市では、先天性風しん症候群(CRS)※の予防を目的として、**風しんの無料抗体検査**を実施しています。
県内の抗体検査実施医療機関において、窓口で費用を負担することなく検査を受けることができます。検査の詳細は、下記のホームページ

岡山市・倉敷市以外 → [風しんの無料抗体検査が受けられます](#) (岡山県健康推進課)

岡山市 → [風しんの無料抗体検査](#)

倉敷市 → [風しん抗体検査について](#) をご覧ください。

<1962(昭和37)年4月2日から1979(昭和54)年4月1日までに生まれた男性>

風しんの抗体保有率が低い1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性に対して、まずは**無料で抗体検査**を受け、**抗体価が低い場合は風しんの予防接種を無料で受けることができる**制度が、実施されています(2022年3月31日まで)。以下の医療機関で、無料の抗体検査が受けられます。

市町村から届いたクーポン券を使用できる岡山県内の医療機関リスト

※妊娠初期に風しんに罹患すると、出生児に先天性風しん症候群(CRS)と総称される障がいを引き起こすことがあります。先天性心疾患、難聴、白内障が3大症状です。

岡山県の2019年4月~2021年4月の風しんのクーポン使用実績(抗体検査)は、21.9%(3月までは21.1%)と未だに低い状況です! CRSを防ぐためにも、必要な方は確実に予防接種を受けましょう!

[風しんの追加的対策について\(厚生労働省\)](#)
[風疹に関する疫学情報\(国立感染症研究所\)](#)
["風疹ゼロ"プロジェクト\(日本産婦人科医会\)](#)

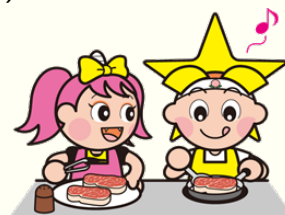


©岡山県「ももっち」

◆◆◆ 食中毒予防の3原則 ◆◆◆

岡山県は食中毒注意報発令中です!

- 「清潔」(菌をつけない)
 - ・調理前、食事前、トイレ後には、石けんと流水で手をよく洗いましょう。
 - ・まな板、ふきん等の調理器具は、十分に洗浄・消毒を行いましょう。
 - ・焼肉をする時は、生の肉をつかむはしと食べるはしを使い分けましょう。
- 「迅速・冷却」(菌を増やさない)
 - ・生鮮食品や調理後の食品は、できるだけ早く食べましょう。
 - ・生鮮食品や調理後の食品は、10℃以下で保存しましょう。
(生食用鮮魚介類は、4℃以下で保存するよう努めましょう。)
- 「加熱」(菌をやっつける)
 - ・加熱して食べる食品は、中心部まで十分に火を通しましょう。
 - ・特に、食肉は中心部の色が完全に変わるまで十分に火を通し、生食は避けましょう。



©岡山県「ももっち・うらっち」

[食中毒予防の3原則\(岡山県生活衛生課\)](#)
[家庭でできる食中毒予防の6つのポイント\(厚生労働省\)](#)

保健所別報告患者数 2021年 27週(定点把握)

(2021/07/05～2021/07/11)

2021年7月15日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	178	3.30	90	6.43	41	3.73	6	0.60	39	5.57	-	-	-	-	2	0.33
咽頭結膜熱	8	0.15	2	0.14	-	-	-	-	2	0.29	1	0.25	-	-	3	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.17	3	0.21	5	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
感染性胃腸炎	159	2.94	44	3.14	34	3.09	38	3.80	10	1.43	7	1.75	5	2.50	21	3.50
水痘	3	0.06	1	0.07	-	-	1	0.10	1	0.14	-	-	-	-	-	-
手足口病	7	0.13	1	0.07	2	0.18	2	0.20	2	0.29	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	16	0.30	5	0.36	4	0.36	1	0.10	6	0.86	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	28	0.52	5	0.36	15	1.36	-	-	1	0.14	-	-	-	-	7	1.17
流行性耳下腺炎	4	0.07	2	0.14	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2021年 27週(発生レベル設定疾患)

(2021/07/05～2021/07/11)

2021年7月15日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	8	0.15	2	0.14	-	-	-	-	2	0.29	1	0.25	-	-	3	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.17	3	0.21	5	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
感染性胃腸炎	159	2.94	44	3.14	34	3.09	38	3.80	10	1.43	7	1.75	5	2.50	21	3.50
水痘	3	0.06	1	0.07	-	-	1	0.10	1	0.14	-	-	-	-	-	-
手足口病	7	0.13	1	0.07	2	0.18	2	0.20	2	0.29	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	28	0.52	5	0.36	15	1.36	-	-	1	0.14	-	-	-	-	7	1.17
流行性耳下腺炎	4	0.07	2	0.14	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2021年 第27週 2021/07/05～2021/07/11)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	178	14	27	66	45	15	9	2	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	8	-	4	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	-	-	-	1	-	-	4	2	1	-	-	-	1	
感染性胃腸炎	159	4	17	29	16	15	6	6	9	14	9	1	13	3	17
水痘	3	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	
手足口病	7	-	1	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発疹	16	-	5	9	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	28	-	1	11	7	6	3	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	4	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	1	-	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

2021年 27週

分類	疾病名	2021		2020	疾病名	2021		2020	疾病名	2021		2020
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	4	123	252	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	5	20	103
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	1		-	-	-
四類	E型肝炎	-	2	4	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	1
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	3	7
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	2	3
	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本紅斑熱	-	3	11	日本脳炎	-	-	2
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	2	31	79
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	5	17	ウイルス性肝炎	-	2	10	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	13
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)		-	-	1	急性脳炎	-	5	6	クリプトスポリジウム症	-	-	-
クロイツフェルト・ヤコブ病		-	1	1	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	3	7	後天性免疫不全症候群	-	4	15
ジアルジア症		-	-	-	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	1	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
侵襲性肺炎球菌感染症		-	8	12	水痘(入院例に限る。)	-	2	5	先天性風しん症候群	-	1	-
梅毒		-	59	162	播種性クリプトコックス症	-	1	2	破傷風	-	1	3
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	百日咳	-	8	92
風しん		-	-	1	麻しん	-	-	-	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-
※	新型コロナウイルス感染症	20	6,176	1,440		-	-	-		-	-	-

※新型インフルエンザ等感染症

